

令和7年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府民の森ちはや園地及び大阪府立金剛登山道駐車場	指定管理者：ちはや園地等管理共同事業体	指定期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日	所管課：環境農林水産部みどり推進室みどり企画課
--------------------------------	---------------------	--------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>施設の設置目的に沿った管理運営ができたか。</p> <p>①自然風景地の保全 ②豊かな自然や園地の特性を活用した取組の展開 ③金剛山系周辺の関係施設との連携</p>	<p>【物価変動についての考え方、指定管理を行う上での影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人件費、園地での修繕に係る資材費、販売品に係る仕入費、園地管理用車両の燃料費等の価格が上昇している。また、香楠荘撤去工事に伴う工事車両の通行増、キャンプ場施設の一部使用停止等、当初提案時には無かった施設の使用制限などにより、利用者数が減少している。 現状は、当初申請時の5年間見通しと異なる状況にあり、今後の収支計画の見直しが必要と思われる。 <p>①ちはや園地の自然環境に沿った植生管理（伐採、草刈り時の希少種（ラン科植物やヤマユリ等）の保全等）を行った。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪で一番星に近い天文台で天体観測を展開した。また、天気の良い日の日中に太陽観測を無料開催した。 星空観測 5回 88名、太陽観測 18回 656名（11月末現在） 定例的（毎月第一、第三日曜日）にガイドウォークを開催し、園地の自然・魅力を来園者に伝える取組を行った。 ガイドウォーク 12回 62名（11月末現在） 野鳥観察会を毎月第四日曜日に定例会として、また、入門講座を春秋の2回開催し、園地に飛来する野鳥の観察を通じて自然との付き合い方を伝える取組を行った。 野鳥観察会 8回 112名（11月末現在） <p>③金剛山頂施設連絡協議会、千早赤阪村金剛山系対策協議会、千早赤阪村観光協会に参画。葛木神社、転法輪寺、金剛練成会と連携し、登山道の補修や清掃活動、イベントでの協力等金剛山、ちはや園地のPRを行った。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を適切に保全し、関係機関と連携しながら園地の運営が行えた。 イベントの実施を通じて金剛山、ちはや園地の魅力を発信するという目標は概ね計画通り実施した。 	A	<p>履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。</p>	A	
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>平等利用に努めたか。</p> <p>①誰もが安心して利用できる施設の運営 ②予約手続きにおける平等性の確保 ③高齢者、障がい者等への配慮</p>	<p>①令和5年4月1日から火曜日の定休日をなくして毎日開園した（年末年始を除く）。</p> <p>②イベント予約にHP、スマートフォンアプリ、電話など多様な申込手段をとった。イベントは多くの回数実施しており、希望者は参加できている状況であった。</p> <p>③要望があれば、工作ルームの大型モニターを使っての解説や視覚障がい者対象の星空ガイドなどを開催するコンテンツを用意した。（11月末現在 利用希望無）</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 天候悪化等のリスクのある金剛山頂域で、安心して利用できる施設として毎日開園し、利用者の案内・対応を行った。 高齢者、障がい者を含め誰もが園地を楽しんでいただけるよう運営に努めた。 	A	<p>履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。</p>	A	
	(3) 安全・安心に利用できるための管理の具体的方策	<p>施設の安全管理について、トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。</p> <p>①危機管理体制の構築 ②自然災害や事故などの緊急時の対応状況 ③事件・事故等危機事象の備え ④災害時の適切な対応と迅速な応急処置</p>	<p>①日常業務、異常時の対応等について園地職員が的確に対応できるよう、府民の森園地管理必携を作成・共有した。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 府道や登山道の積雪状況や大雨による被災状況などの情報を SNS や HP を通じて情報提供を行った。 ケガや急病等で救助を求められたときに、救急要請を速やかに行うよう誘導した。 <p>③消防訓練を11月に実施した。</p> <p>④大雨による自然災害発生の危険がある場合には、臨時休園措置をとり、園内の安全確認を行った後、開園する体制をとった。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常点検等を行い、トラブルの未然防止に努めており、概ね計画通り実施した。 	A	<p>履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。</p>	A	

I 提案の 履行状況 に関する 項目	(4) サービス向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の利便性の向上がなされたか。 ①多様な情報提供による安全・安心の確保（スマートフォンアプリの開発） ②星と自然のミュージアムの情報発信拠点機能の強化 ③利用者の荷物運搬・移動の負担軽減 ④ドローン映像による新たな魅力発信	① ・スマートフォンアプリを運用した。電波の関係でマップ機能等は使用できない状態にあったが、園地のイベント情報等の更新は行い、園地外からの予約申込機能は維持した。 ・今年10月より、奥河内ラジオ（FM80.7MHz）で新番組『ちはや星と自然のミュージアム』を生放送でスタートさせた。ちはや園地の解説員が毎週火曜日に1時間程度『ちはや園地』の世界を案内するもので、天体や野鳥、生き物、イベント等について情報提供を行った。 ・ホームページのトップページにブログページへの案内を英語で記載した。ブログでは折々の園地情報を英語で発信した。 ②定期的な展示内容の更新、サイネージ情報の更新等を継続的に実施した。また、SNS等により積極的に情報を発信した。 <table border="1" data-bbox="890 367 1439 514"> <tr> <td></td> <td>登録者数</td> <td>発信数（4～11月末）</td> </tr> <tr> <td>Instagram</td> <td>1730名</td> <td>248回</td> </tr> <tr> <td>Facebook</td> <td>158名</td> <td>86回</td> </tr> <tr> <td>YouTube</td> <td>293名</td> <td>22回</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ブログの更新 90回</td> </tr> </table> ③ ・キャンプ利用者の荷物運搬の負担を軽減するため、キャンプに必要な薪や炭の販売、食器類や寝袋等の貸出などのサービスを行った。 ・利用者の旅客運送について、金剛山頂施設連絡会で意見交換を行った。 ④大阪府が撮影した園地の植生調査のドローン映像をミュージアム内サイネージで発信した。 【自己評価】 ・スマホアプリ、SNS、HP、及びFMラジオなど多様なツールで情報発信しており、概ね計画通り実施した。		登録者数	発信数（4～11月末）	Instagram	1730名	248回	Facebook	158名	86回	YouTube	293名	22回	ブログの更新 90回			A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。 ①新たにスタートしたラジオやSNS等による情報発信を継続して行い、利用者の増加につなげることを期待する。 ③利用者の輸送、荷物運搬について、指定期間中に実現できるよう、令和7年度中に具体的なスケジュールと内容を示されたい。	A	ラジオ放送について、アーカイブ配信によるPRを検討されてはどうか。
		登録者数	発信数（4～11月末）																			
Instagram	1730名	248回																				
Facebook	158名	86回																				
YouTube	293名	22回																				
ブログの更新 90回																						
(5) 施設の維持管理の内容、的確性及び実現の可能性	施設の維持管理、景観保全について、良好な管理がなされたか。 ①適切な施設の維持管理(点検・補修) ・管理道、遊歩道、管理棟、キャンプ場、トイレ、駐車場等 ②ドローンを活用した植生管理(危険木の伐採、景観・眺望の確保、美化清掃)	① ・施設一斉点検の実施（9月30日実施） ・管理施設の修繕補修・維持管理 工事発注件数9件、直営修繕件数9件 (内容) ミュージアム屋外掲示板の取替 駐車場管理棟入口サッシの取替 キャンプ場給水管の修繕 駐車場発券機横建屋屋根の増張 等 ② ・第二駐車場は、香楠荘撤去工事の資材置場等として使用されていたが、一部工事が完了したことから、この冬より大型バス等の駐車場として本格使用することとした。それに先立ち駐車場周辺の危険木の有無を確認することとし、切り立ったのり面が多く徒歩での調査が困難な箇所であったが、大阪府が撮影したドローン写真により駐車場周辺に危険木がないことを確認した。 ・キャンプ場周辺は、昨年度、危険木の伐採作業を行ったところであるが、来年度以降、バンガロー等の利用が多くなることから、ドローンにより新たな危険木の有無を確認、キャンプ場周辺に危険木がないことを確認した。 【自己評価】 ・定期的な点検を行い、業者による修繕工事、職員による補修を実施した。また、日常点検の中で簡易な補修を行い、予防保全に努めた。概ね計画通り実施した。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A																	

I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 す る 項 目	(6)自然体験活動の推進に関する具体的方策	<p>自然体験活動について、具体的な企画が実施されたか。</p> <p>①ボランティアとの協働による自然体験活動の実施状況（魅力あるプログラムの展開）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境、星空観察に関するオンライン講座、出前講座の実施状況 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークレンジャーとの協働による自然体験活動 ナイトハイク（7月26日 8名） 星空観察（7月26日 8名） 森の缶バッチづくり（春まつり共催）（4月13日 50名参加予定 雨天により中止） 森のピザ屋さん（秋まつり共催（10月26日 30名参加予定 雨天により中止）） ちはや園地初登り&豚汁（1月10日 15名参加予定） ・オンライン講座 真夜中の皆既月食を見よう 2025（YouTube）（9月8日 視聴者数4,622名） ・出前講座 大阪府立富田林中学校（7月4日 121名） 千早赤阪村立千早小吹台小学校（7月9日 20名） 千早赤阪村立赤阪小学校（7月10日 8名） 堺市立若松台中学健全育成会（7月25日 76名） 河内長野市教育委員会（7月27日 13名） 河内長野市立天見小学校（8月5日 70名） 河内長野市立千代田公民館（10月29日 27名） 合計7回 335名 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座は、教育委員会等への直接PR活動等の積極的な取り組みの結果、7校（昨年度は8校 265名）の申込みがあり、園地職員が講師として出かけ開催した。 ・出前講座を通じて来園する仕組みづくりとして、例えば7月25日に開催した堺市立若松台中学健全育成会では、球状星団や散開星団などを観察し、球状星団（M13）の画像をその場でデータでプレゼントした。その際、ちはや星と自然のミュージアムでは様々な星の画像を展示していることを伝えたと、後日出前講座に参加した多くの子どもたちが、星の画像を見に来園してくれた。 ・オンライン講座については予想を上回る視聴があり、来年度も実施を希望する声が多くあった。 	A	<p>履行確認の結果、事業計画書に示した取り組みが実施されており、評価できる。</p> <p>出前講座の参加人数は、昨年度を上回り、ちはや園地内に留まらず、積極的に自然体験活動、園地のPRを実施しており評価できる。一方、出前講座を通じて来園に繋がる仕組み作りや、効果測定が十分にできていないため、令和8年度に実施されたい。</p>	<p>出前講座について、環境教育の要素（星が見える理由や光害等）を加えてはどうか。</p>
	(7)施設のにぎわいを創造する事項	<p>収益事業（自主事業）が提案通り実施されたか。</p> <p>①自主事業の実施状況</p> <p><物品販売等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への物品販売（オリジナルグッズ、アウトドアグッズ他）、レンタル用品の充実 ・ログハウス休憩所等での飲食の提供 <p><イベント開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園地と駐車場を連携させたイベントの実施（金剛山春・夏まつり） ・新規プログラムの提供（チェンソーカービング、森林ヨガ、ドローン講習、星空観察会の拡充他） ・自然や環境に関するオンライン講座、出前講座の実施 	<p><物品販売等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル木製コースター、キーホルダーの販売 ・焚火台のレンタル ・「金剛山野草と木の花ハンドブック」の販売（11月末現在 148部販売） ・カップ麺、レンジ食品販売、飲料自販機の設置 <p><イベント開催></p> <p>(1)金剛山春まつり 4月13日 雨天中止</p> <p>(2)金剛山秋まつり 10月26日 雨天中止</p> <p>(3)金剛登山道駐車場を利用し、日帰りで参加できるプログラムを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星空観察会（山麓スターウォッチング）（4月26日、9月6日、11月15日 計96名） ・星空コンサート（7月26日、8月16日 計102名） <p>(4)新規プログラムの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星空観察イベント（Seestarとランデブー）（5月31日 26名） ・ミニクリスマスツリーづくり（11月30日 13名） <p>(5)その他プログラムの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's use ピザ窯（4月6日、11月9日 計28名） ・森のなかまづくり（4月29日 4名） ・森のおもちづくり（5月5日 16名） ・夏の昆虫観察会（7月19日 11名） ・たわしでリスづくり（8月3日 13名） ・きらめき実験工作～映える！顕微鏡&万華鏡（8月9日 6名） <p>・イベント実施総合計 67回 6,206名（11月末現在）</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物品販売等は継続的に行い、イベント開催はプログラムを積極的に実施し、内容充実の計画を達成した。 ・なお、これまで春・夏に開催してきた金剛山山のまつりについては、今年度より春・秋の開催とし、関係者の協力のもと開催に向け準備してきたが、天候不良によりいずれも中止となった。 	A	<p>履行確認の結果、事業計画書に示した取り組みが実施されており、評価できる。</p> <p>(4)施設のにぎわい創造や来園のきっかけとなるよう、引き続き、新規プログラムの提供に努められたい。</p>	

I 提案の履行状況に関する項目	(8) 府施策との整合	①行政の福祉化、就職困難者の雇用・就労	行政の福祉化に関する取組がなされたか。 ①就職困難者の雇用・就労状況	<ul style="list-style-type: none"> 以前より、園地職員として障がい者が就労中。 新たに、支援団体、ハローワーク等を通じて障がい者を募集した。 【自己評価】 <ul style="list-style-type: none"> 障がい者の新規募集については、関係機関と調整しながら取り組んだが、応募者が無かった。引き続き関係団体を通じて募集する。 	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A	
		②府事業、その他公益事業への協力	府・公益事業への協力がなされたか。 ①府事業への協力状況 ②公益事業への協力状況	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ちはや園地キャンプ場、金剛登山道駐車場の利用料金について、大阪府の施策に協力し障がい者の利用に対し、割引料金を適用した。 (キャンプ場利用料金の半額免除、駐車場利用料金の全額免除) 大阪府が実施する「金剛山及びちはや園地周辺地域の集客力強化事業」(キャンプ場機能強化事業)に協力し、整備工事期間中のキャンプ場内のバンガロー、常設テントの使用を停止した。 大阪府が実施する香楠荘の撤去工事、千早赤阪村が実施するロープウェイ駅舎撤去工事に協力し、ミュージアム前の敷地の提供、第二駐車場を撤去廃材積替え場所として無償提供した。 おおさか生物多様性施設連絡会に参加した。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪南消防組合の訓練に第二駐車場を無償提供(10月16日、10月21日、10月31日) 近畿管区警察学校の訓練に第二駐車場を無償提供(10月28日、10月30日、11月18日、11月25日) 小中学校での出前講座(星空観察)を多数実施しており、教育振興の面でも貢献した。 地元のボランティアグループ「二剛会」や大阪府山岳連盟が実施する金剛山の清掃活動に協力し、参加者が回収したごみの処分やメンバーの駐車場の提供等を行った。 【自己評価】 <ul style="list-style-type: none"> 大阪府や千早赤阪村が実施する事業、公共事業に協力した。 なお、昨年度は工事の資材置場として利用されていた第二駐車場は、今年度は空きスペースを有効活用することにより、消防組合や警察学校の訓練に無償提供することができた。 	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。 ①キャンプ場機能強化事業でバンガローの新設・改修を行うため、日帰り登山客だけではなく、宿泊客を含めたインバウンドなど新たな客層を呼び込むことに努められたい。大阪府が実施する万博レガシーを活用したちはや園地活性化事業について、指定管理者として相乗効果が期待できるよう、利用者等のデータを把握・分析して計画を立て、ちはや園地の魅力向上と地域活性化に協力されたい。	A	
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果を把握し、運営に反映していたか。 ①利用者の満足度調査・アンケート等の結果、対応策の分析、対応状況	<ul style="list-style-type: none"> アンケート用紙を管理事務所・休憩所に配置した。併せて星空コンサート、出前講座等のイベント開催時にもアンケートを配布・回収した。 アンケートに寄せられた意見は職員全員で共有した。 アンケート件数 212件(11月末現在) 【自己評価】 <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収・反映について概ね計画通り実施した。 アンケート結果は、おおむね満足した意見が寄せられていた。 回答者数212人中、非常に良かった173人、良かった34人、良くなかった1人、無回答4人 良くなかった回答の1人は、ロープウェイや香楠荘がなくなって寂しいというものであった。 野鳥観察会の参加者より、後ろに並ぶ人たちも見たり聞こえたりがもう少し欲しいとの意見があり、多くが参加する観察会についてはガイドを2名に増やすなど、対応可能な要望は園地管理に反映させるよう努めた。 	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A		
	(2) その他創意工夫	その他のサービス向上につながる創意工夫がなされたか。 ①I-(4)以外のサービス向上につながる取組み、創意工夫の実施状況 ②府民、ボランティア、NPO等の団体が事業企画などに参加・参画できる機会の確保 ③地域連携事業	<p>①緊急連絡用の公衆電話をキャンプ場管理事務所前に設置し緊急時の利用に供した。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 富田林市すばるホールでの「すばる学園祭」に協賛した。NPO団体等と協力し、ちはや園地の広報活動を実施した(5月24日) パークレンジャーからの企画提案事業 ナイトハイク&星空観察(7月26日 計16名) <p>③千早赤阪村金剛山系対策協議会、千早赤阪村観光協会、金剛山頂施設連絡協議会に参加、山の祭りイベントでの連携など金剛山・ちはや園地のPRに努めた。</p> 【自己評価】 <ul style="list-style-type: none"> 園地内での活動にとどまらず、地域のイベントへの参加、出前講座の活動や関係団体との連携を行っており、ちはや園地に関心を持ってもらう取組みについて積極的に実施した。 	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A		

Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(1) 収支計画の内容、的確性及び実現の程度	<p>①当初見込んでいた収入は得られていたか。</p> <p>②事業計画や前年度実績等と当年度実績とを比較、分析した結果はどうか。</p> <p>③自主事業の事例を調査し、取組可能な事例について導入を試みていたか。</p> <p>④経費は当初見込んだ範囲内で収まっていたか。</p> <p>⑤当初提案時の支出計画書や事業計画等と実績とを比較、分析した結果はどうか。</p>	<p>①昨年度からの大阪府工事によるキャンプ場施設（バンガローや常設テント）の使用停止等の影響を受け、キャンプ場収入は令和5年度比51.1%になっている。（11月末現在）</p> <p>キャンプ場の一部使用停止は、宿泊を伴うイベント（星空観察会）の集客にも影響を与えた。</p> <p>②事業計画において今年度に計画した事業については、昨年度と同様、概ね実施できた。</p> <p>③第一駐車場での日帰り星空観察会（SeeStar とランデブー）や、ミュージアムでのミニクリスマスツリーづくりなど新たな取組を行った。</p> <p>④人件費、園地での修繕等に係る資材費、販売品の仕入費、園地管理用車両の燃料費等の価格の上昇があり、今後の収支計画の見直しが必要になってくると思われるが、概ね計画通りとなった。</p> <p>⑤指定管理者公募・提案時に、府から提示の無かった事項が発生しており、当初見込んでいなかった利用者数及び収入の減少となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場施設の一部使用停止 ・ロープウェイや香楠荘撤去工事に伴う工事車両の通行増等 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱費や消耗品費等の値上がりに伴う支出増があるが、概ね計画通りとなった。 ・上記①⑤については、計画できないリスクであり、収支計画等の見直しが必要である。 	A	<p>履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。</p> <p>①⑤キャンプ場施設の休止、令和8年度以降の開始を踏まえ、必要に応じて収支計画の見直しを行い、経費の削減に努めるとともに、引き続き施設管理や自主事業に取り組みたい。</p>	A
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	<p>①職員体制・配置は十分か。</p> <p>②職員採用、確保の方策は適切か（継続雇用等の観点）。</p> <p>③職員の指導育成、研修体制は十分か。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園地職員体制 5名 ・繁忙時には登録職員（13名）を配置 <p>②継続雇用希望者は継続雇用し、新規採用者は公募により採用した。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲種防火管理新規講習受講 1名 ・人権研修のビデオ受講 5名 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの職員体制で運営を行った。 ・職員は業務に必要な技能講習を受講した。 	A	<p>履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。</p>	A
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	<p>①運営基盤として、提案事業者の経営、事業、組織規模等は十分か</p> <p>②運営基盤として、提案事業者の財務状況は妥当か</p>	<p>①②公社は、安定的な運営が可能で財政的基盤、財政状況を有している。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府民の森の管理・運営は、公益目的計画の実施事業であり、公社の重要な業務と位置づけ、積極的に管理・運営に取り組んでいる。 	A	<p>安定した財政基盤があり、流動比率、負債比率等の指標から安全性が高く、指定管理業務の受託に問題はない。</p>	A

年度評価：A